

理事通信

編集&発行・西日本区理事事務局

2025年12月号



◇主題

『世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!』

“Let's enjoy the YYY life together with our friends all over the world!!”

◇副題（スローガン）

『あなたに寄り添う。あなたを忘れない。』

” Stay with you. Never forget you.



2025-2026 年度
西日本区理事 中井信一

◇理事あいさつ

木々の葉も落ち、冬の気配が一段と深まる12月となりました。街にはクリスマスの灯りがともり、皆さま慌ただしい季節になって参りましたが、どうぞお体ご自愛下さい。多くの皆様と交流を図る事が出来ました部会でもお伝えを致しましたが、11月15日より“Y's x SDGs Youth Action 2026”的応募がスタート致しました。部長の皆さま、会長の皆さまにはどうぞ一緒に活動されていますユースの皆さまにお声掛けを頂き、多くのチームのご応募をお待ちしています。1チームに最大20万円のご支援を予定しています。

さて、楽しみにしていました部会も来年2月のびわこ部会を残すのみとなりました。部長やご準備を頂きましたクラブの皆さまには改めまして心よりお礼を申し上げます。

6) 10月25日は、西中国部会。広島 YMCA 内でのユースが主役の部会、“I PRAY”も一部でしたが、我々ワイズに多くのヒント、示唆を示して頂きました。奈良でも2017年に公演を行って頂きましたが、その時のメンバーの一人が今回も立派な青年になり活躍していました。嬉しい再会になり

ました。そして、懇親会では坂田ワイズ、木原ワイズワールドを参加者全員が体験し、ダンスも楽しみました。

7) 11月8日は、瀬戸山陰部会。松江の名園、由志園での開催。NHKの朝ドラの舞台、タイムリーな場所で開催して頂きました。“ひとり親家庭”について我々一人一人が考える良い時間を与えて頂きました。又、食事もライトアップもゆっくりと楽しみました。帰りには境港にも立ち寄り、美味しい海鮮丼も頂きました。

8) 15日は、六甲部会。お洒落な神戸での開催。EMCシンポジウムでは、久保田 EMC 事業主任の熱いメッセージを参加者の皆さんにお伝え頂きました。部会では、部長の想い“ウェルネス”について体も動かしながら学ぶ、良い機会を頂きました。我々ワイズに今必要な体の健康、心の健康を学ぶ良い時間になりました。帰りには三宮の熱気を有志で楽しみました。年の瀬を迎え、日々ご多忙かと存じますが、どうかお健やかにお過ごし下さい。又、様々な集いのシーズンに入って参ります。YYYの素敵な出会い、交流の機会が多く有ります様に祈念申し上げます。



12月強調月間 CE ／ IBC・DBC

「すべての人を一つにしてください。」 ヨハネによる福音書 17章 21節。

YMCAとワイズメンズの理想主義を愚直に掲げ、クラブ内外に発信しながら奉仕しましょう。

薮 秀実 クリスチャニティー委員長(近江八幡)



締結しているクラブ同士で交流を深め、共同事業を検討しましょう。

締結を考えているクラブは他クラブを訪問し、交流を深めましょう

国際交流は、友情の架け橋。

強調月間を機に各クラブが活動に積極的に参加し、世界との絆を深めましょう。



中西 賢一 国際・交流事業主任(熊本にし)



第2回役員会議事録 概要版

開催日時：2025年10月18日(土) 開会 10:30 閉会 18:20

開催場所：ホテルクライトン新大阪

出席者：36名(兼任除く)

【議案審議】

第1号議案	「第31回アジア太平洋地域大会の支援金(2025-26年度後期分)を徴収しない件」について		
議案内容	第31回アジア太平洋地域大会支援金について、2023-24年度に決定された4期分(会員1人あたり500円)の拠出のうち、今期(2025-26年度後期)分のみ徴収しない。		
提案者	西日本区会計 内藤 陽介	審議結果	第1号議案 動議に変更

第1号議案 動議	「第31回アジア太平洋地域大会の支援金(2025-26年度後期分)を徴収し、大会準備金として留保する件		
議案内容	第31回アジア太平洋地域大会の支援金(会員1人あたり500円)は、2023-2024年度に承認され、4期に分けて拠出する予定だった。しかし大会決算で約70万円の剰余金が見込まれたため、2025-2026年度後期分の支援金拠出を辞退する申し出があった。そのため後期分の支援金は大会支援には使わず、今後西日本区内で大会が開かれるときの準備金として区に留保し、経理処理の方法は今後検討することになった。		
提案者	西日本区書記 河合 博之	審議結果	賛成12名、反対5名で可決。

第2号議案	JWF管理委員会の委員の選出推薦の件		
議案内容	2026-2027年度のJWF管理委員会委員の選出推薦について。		
提案者	西日本区次期理事 岡村遍導	審議結果	出席者全員賛成 可決

第3号議案	ビエンチャンYMCA国際ホテル専門学校のスタートアップ資金の支援について		
議案内容	ビエンチャンYMCA国際ホテル専門学校開校に伴いスタートアップ資金としてJWFより180万円を支出いただくよう、JWF管理委員会に検討依頼する。		
提案者	西日本区理事 中井信一	審議結果	出席者全員賛成 可決

第4号議案	(仮称)「新・ラオスにYMCAを!特別委員会」の設置について		
議案内容	新たに「新・ラオスにYMCAを!特別委員会」として2026-2027年度より最長2031-2032年度の5年間、新たに設置する。		
提案者	西日本区理事 中井信一	審議結果	出席者全員賛成 可決

第 5 号議案	「広報・情報委員会規則第6条(運用・守秘義務)」の改正について		
議案内容	「広報・情報委員会規則第6条(運用・守秘義務)」を別紙のとおり改正する		
提案者	西日本区理事 中井信一	審議結果	出席者全員賛成 可決

第 6 号議案 【差替】	ユース事業委員会新設に伴う「西日本区定款施行細則第 13 条」ならびに各種諸規則「事業委員会規則」の改正について		
議案内容	ユース事業委員会の新設に伴い改正案を別紙1・別紙2のとおり作成したので承認願う。		
提案者	西日本区次期理事 岡村遍導	審議結果	出席者全員賛成 可決

第 7 号議案	ユース事業資金の新設ならびに運用資金の確保について		
議案内容	各部・各クラブの活動支援(活用例別紙)に資するためのユース事業資金の新設と、当面2年分の資金確保(700 円 × 1250 人 × 2年=1,750,000 円)をJWFより175万円支出いただくよう検討依頼する。		
提案者	西日本区次期理事 岡村遍導	審議結果	出席者全員賛成 可決

第 8 号議案	第30回 西日本区大会ホストクラブ及び開催地、日程を承認いただく件		
議案内容	開催場所 : びわこ大津プリンスホテルコンベンションホール淡海 開催年月日 : 2027 年 6 月 12 日(土) メインホストクラブ : 長浜クラブ・彦根シャトークラブ サブホストクラブ : 近江八幡クラブ・彦根クラブ・滋賀蒲生野クラブ・高島クラブ 上記内容での西日本区大会開催の承認を求める		
提案者	西日本区次期理事 岡村遍導	審議結果	出席者全員賛成 可決

第 9 号議案	第 28 回西日本区大会 会計決算報告並びに余剰金取扱承認の件		
議案内容	本年 6 月 14 日神戸で開催されました第 28 回西日本区大会の会計決算報告について、また余剰金総額 429,832 円の取扱案として、西日本区会計へ拠出することについて		
提案者	西日本区直前理事 鵜丹谷 剛	審議結果	出席者全員賛成 可決

【協議案】

第 1 号協議	「Y's × SDGs Youth Action 2026」活動報告会の検討について		
議案内容	過去の実施経験を踏まえ、西日本区では選考方法・基準を見直すが、活動報告の方法は未定。活動期間は 2026 年 5 月～12 月の予定であり、2027 年 3～4 月の「次期会長・主査研修会」または「第 3 回役員会・第 1 回準備役員会」に合わせてリアル開催する案を提案し、皆さんの意見を求める。		
提案者	西日本区次期理事 岡村遍導	審議結果	

第 2 号協議	役員手当の見直しについて		
議案内容	<p>現行の役員手当の見直しについて、協議事項として提案する 協議結果を踏まえ、次期の予算案策定の参考としたい</p> <p><現行> 理事 10 万円、直前・次期理事 6 万円、各部長・各事業主任 4 万円、監事 2 万円</p> <p><改正> 理事 10 万円 直前・次期理事 5 万円、各部長・各事業主任 4 万円、監事 1 万円</p>		
提案者	西日本区次期理事 岡村遍導		

第 3 号協議	西日本区におけるRBMプラス事業の展開について		
議案内容	西日本区として次期、近隣のアジア太平洋地域におけるマラリア・デング熱の感染予防における、環境・衛生問題や正しい予防対策のための学習教材・カリキュラムなどの支援をするための献金について。		
提案者	西日本区次期理事 岡村遍導		

第 4 号協議	西日本区定款の改正における協議依頼について		
議案内容	別紙のとおり、西日本区定款の改正に関する提言を組織検討・安全対策委員会から受けましたが、この提言案に加筆・修正が必要かどうかのご意見をいただきたく、皆さん方からの建設的な意見を求めるものです。		
提案者	西日本区理事 中井信一		

【報告事項】

- 8月26日に西日本区の常任役員会が開かれ、YSDS ユースアクション 2026 に向けたスケジュールやチーム選考方法、管轄などを決定。全員一致で承認された。
- 2024~2025年度の会計について報告。

○収入合計:約 3,141 万円 支出合計:約 2,891 万円 → 約 250 万円の黒字。主な要因として、役員会・研修会を 2 日から 1 日に短縮し登録費・交通費が半減したこと。広報誌(区報)をデジタル配信化したことによる経費削減(260 万円→190 万円)。交通費について、関西在住役員が多く、全体で約 40% 削減したことが挙げられる。ただし今後は関西以外の役員も増える見込みのため、引き続き節約努力が必要。

○特別会計の報告

- JWF(西日本ワイズ基金):25.5 万円の献金。残高 約 3000 万円
アジア太平洋地域大会へ 300 万円の仮払い後、返済済み。
- 大槻基金:Y サ・ユース支援金へ組み入れ、残高 0 円。
- CS 献金:約 112 万円の献金。支出後、残高約 317 万円。
- FF 資金:約 30 万円の献金、支出 3 万円、残高 420 万円。
- YES 献金:収入 52 万円ほど。ただし用途が不透明な為、支出は保留中(次年度対応予定)。
- Y サ・ユース活動支援金:収入 371 万円、支出 228 万円、残高約 186 万円。貸借対照表では、現金・預金合計が約 1,800 万円。未払金として災害支援金 30 万円余記載。

○監査報告 → 2024-2025 年度新山財政監事より 2025 年 8 月 27 日に会計監査を実施。提出書類・通帳等を確認した結果、「適正である」と報告。

部会報告

西中国部 部会

第24回西中国部部会(広島県・山口県の5クラブ)が、10月25日(土)に開催されました。中井信一西日本区理事をはじめ西日本区の役員の方々、各部、各クラブから総勢70名近い参加者で『平和』をテーマに共に学び、願い、祈り、被爆80年の節目の年にふさわしい部会となりました。



ホストクラブは小さな福山クラブで、開催直前までどうなるかと不安いっぱいでしたが、精いっぱいのおもてなしの心を發揮してお世話をさせていただきました。関係者各位、参加された皆様のお蔭をもちまして無事終了し、気づきと感動を覚える有意義な部会となりましたことに心より感謝申し上げます。

広島YMCAの創立記念日にあたるこの日に、多くの犠牲となった方々が眠る地の上に建つ広島YMCAにお



いて開催、絶えずワイズメンズクラブとの協働をめざしてきた広島YMCAが、87年前の誕生から今日までどのような歩みをしてきたかを振り返りながら、今後も「平和のために何ができるか」、「何をすべきか」を皆さんと共に学び、考え、共感できたことは「平和」実践への第一歩であります。「核兵器も戦争も差別もない平和な世界」はそう簡単には実現できません。しかしながら、ヒロシマの被爆体験を継承しながら、次世代を担う若者や子どもたちが中心となって努力を積み重ねていく意義は大変重要であると確信いたします。

が、精いっぱいのおもてなしの心を發揮してお世話をさせていただきました。関係者各位、参加された皆様のお蔭をもちまして無事終了し、気づきと感動を覚える有意義な部会となりましたことに心より感謝申し上げます。

以下は内容の概要です。

第1部:式典では、バナーセレモニーに始まり、立野泰博チャプレンより聖書朗読・祈祷とメッセージ、部長挨拶、中井西日本区理事、家守治司広島YMCA総主事よりご挨拶、西中国部から広島YMCAにボランティア活動支援金を贈呈。

第2部:広島YMCAの歩み(焼け野原から復活して平和活動を続けている広島YMCAとワイズの支援を紹介している)動画鑑賞、広島YMCA国際リーダーによる広島YMCA主催の「インターナショナルピースセミナー」報告、子ども平和創作劇I PRAYの「復活」より演技と歌、そして広島YMCAと大いに関わりのある、8歳で



被爆された平和語り部の第一人者でもある小倉桂子氏(平和のための広島通訳者グループ代表)により『世界平和を願って』～YMCAとの出会いからオスロに至る70年～と題して熱のこもった記念講演。

第3部:懇親会:場所をかえてしゃれた会場で、坂田王将直前部長によるジヤズと歌の生



演奏、みんなで語り交わり踊り、平和を謳歌。YMCAの歌とアクションで盛り上がり、藤川書記の謝辞で締めくくる。平和の活動実践、この出来事の点を、線に伸ばし、線と線をつないで立体にしていきましょう。ワイズの人々の「輪」が、世界の人々の「和」に繋がりますように。

西中国部部長 上久保 昭二

瀬戸山陰部 部会

11月8・9日(土・日)、第24回瀬戸山陰部部会を開催いたしました。当初11月15・16日を予定していましたが、六甲部部会とバッティングすることから1週間早めた開催となりました。幸いにも会場となった日本庭園「由志園」(松江市八束町大根島)は、11/8から秋の紅葉のライトアップが開始されることになり、絶景の景色の中での部会となりました。



米子クラブがホストした4回の部会では、過去最高の75名(二日目の松江観光は26名)の参加があり、ホストとして大変喜びました。また、参加された皆様から、講演会・会場・料理・送迎・松江観光、いずれにも大変満足された声をお聞かせいただき感謝いたしました。

部会講演会では、日頃から米子クラブとひとり親家庭やDV被害者支援で協力している鳥取県母子寡婦福祉連合会理事長井田智子さん・子どもの居場所「ちいさなおうち」管理人水田美世さん・元良善幼稚園園長福永の3名が、それぞれの立場から「ひとり親家庭が直面する課題」を取り上げました。特に物価高な経済環境での経済的困窮が子どもに及ぼす悪影響(貧困の連鎖)、例えば幼少期(小学校就学前)での親子の関わりの低下や子どもが集団の中で自己表現できる機会の少なさ、またひとり親家庭が公助(様々な補助制度や補助金の利用)を十分に利用できていない現状やDV被害などから逃れる過程での離婚問題など多くの課題を知ること

ができました。第二部懇親会では、量・質ともに大変満足できる料理やライトアップされた紅葉の日本庭園を満喫していただきました。お土産には、米子クラブの女



性陣が日ごろからの手仕事で刺繍した「布巾」やNHK朝ドラで注目のラフカディオ・ハーン(小泉八雲)が愛したお菓子・特製の「プラムプディング」を用意しました。

二日目の松江観光では、心配した天候も観光の時間は雨も止み、NHK朝ドラで注目のラフカディオ・ハーンとその妻小泉セツについて詳しく展示されている小泉八雲記念館や国宝松江城の内堀・外堀を一周するスリーリングな船旅「堀川遊覧」を堪能していただきました。

個人的には、私の実母が部長の大役を待ってくれていたかのように、翌日10日の早朝100歳の生涯を閉じました。母の愛を感じた激動の2日間となりました。

瀬戸山陰部部長 福永 君二



六甲部 部会

はじめに

まず、東日本区、西日本区の役員の皆様、そして六甲部はもとより、東西 26 クラブからご出席くださいました 121 名の皆様に心から感謝申し上げます。

「ようこそ甦った神戸へ」と題し、「いのち」の大切さ、「伝え続ける、語り続ける重要性」をテーマとしました。YMCAと共に、「人々のために、地域で、世界で」活動を続けるワイスメンズクラブの基本は、健康、ウエルネス、ウエルビーイングだと考え、準備を進めました。2025 年度 WHO 世界健康デー標語「健やかな始まり、希望ある未来へ！」を体感していただけたかと考えます。期せずして、YMI ワールドに、「BF & ウエルビーイングの育成」が挙げられており、1. 身体の健康と運動能力、2. 精神への刺激と創造性、3. 社会的つながりとコミュニティ、4. 余暇と楽しみ、5. 異なる能力に合わせた活動の適応（ここに椅子を使ったエクササイズがあります）、6. 成功のためのヒント、そしてまとめに、『人生のあらゆる年齢や段階において、喜びを引き出し、つながりを育み、新たな目的意識を与えてくれる活動こそが、最高の活動です。楽しみながら、仲間意識を育てましょう。』とあります。

EMC シンポジウム

部会に先立って実施した EMC シンポジウムは、まさに上記の言葉を表す、久保田 EMC 主任の発題『クラブの魅力』と『メンバー満足度』を高めることが会員増強のカギ！！でした。会場の皆様と「V 字回復」を共に唱和したのを忘れないで歩み続けたいと思います。

北島 EMC 主査が今回のシンポジウムを一手に引き受けられましたが、実り多いシンポジウムでした。

六甲部部会

バナーセレモニーが厳粛に行われ、六甲部 7 クラブが紹介されました。

開会点鐘、ワイスソング斉唱、水野担当主事の祈祷の後、小澤昌甲神戸 YMCA 総主事、中井信一西日本区理事の来賓挨拶をいただき、柳が歓迎挨拶をしました。物故者哀悼の後、田上正アジア太平洋地域会長より、神戸クラブ美崎晋ワイスに、国際ブースター賞 2024-2025 のメダルが授与され、六甲部としても、大きな喜びでした。



講演は、NPO 法人 1 億人元気協会会長、元神戸 YMCA 社会体育専門学校講師、竹尾好恵氏でした。「いつまでも健やかに自分らしく過ごす～チアエクササイズ OR でフレイル予防～」と題し、具体的で解りやすい講演と実技でした。参加者の皆様は、気持ち良い身体活動で心も身体もほぐれ、笑顔があふれています。クラブ例会の始まりに、チアエクササイズを取り入れているクラブの様子が目に浮かびます。

準備から実施まで

神戸には、多くのホテルがありますが、全国から来ていただくために、神戸らしく、交通の便が良く、食事の美味しいクラウンパレスホテルを選びました。



六甲部には、伝統的に強力な助っ人が多数います。西日本区の各部会での呼びかけなど、助っ人の皆様の多

大なご尽力で、121 名の参加者に来ていただきました。

そして、このホテル初めての方が多いと考えられるため、導線に立つ方々や、受付、ロビーでの対応等、六甲部各クラブの皆様に多大の協力をいただきました。六甲部の結集力です。感謝です。

今回の開催にあたり、主催者神戸西クラブの働きはもとより、六甲部各クラブ会長をはじめとするクラブ員皆様のお陰で、当初の「蘇った神戸」を体感いただける 2025 六甲部会を開催することができました。ありがとうございました。

今後も、六甲部全体のウエルビーイング、発展のために、協力・協働体制を進めてまいります。

六甲部部長 柳 敏晴

聖句・聖書小窓 2025年12月号 聖書の小窓



「クリスマスの原点」ヨハネ 14:6

わたしは道であり、真理であり、命である



西日本区チャプレン 立野 泰博

教会に初めての方から電話があり、開口一番「どのように生きていけばいいかわかりません」と言われました。「何をすればいいのか、私は存在価値のない人間なのです」とまで言われました。

この社会のなかで、生きる指針をなくしていることは多いです。それは人生そのものにもいえます。生きる力が衰えていくなか、どうしていいのかわからないとの声を聞きます。人生のほとんどがいまの生活を維持することに必死で、夢、幻、目標が見えません。このままでは自分の存在価値さえ見出せないと不安になります。

イエスは「わたしは道であり、真理であり、命である」と言われました。生きる指針を示されました。そこに目標や夢をみることが出来ます。なにかに迷ったとき、そこに帰るがあります。

ワイズ活動も目標を見失ったら原点に帰る。その原点は何でしょうか。12月はクリスマスです。クリスマスはイエスの誕生です。それはインマヌエル「神共にいます」です。これが原点です。そこからまた新しい年への一歩を歩み出します。ワイズ活動の原点とは何か。この年の締めくくりに帰る場所を見いだしてまいりましょう。



ワイズ戦略委員会、戦略 2032 戦略の基本1



アジア太平洋地域会長

ワイズ戦略委員会委員長

田上 正(熊本むさしクラブ)

国際の潮流について2回にわたりお伝えしましたが、今回からは戦略の基本6つの「私たちが守るべきこと」についてお話をいたします。

最初に「私たちの親睦」があります。私たちは親睦から生まれるエネルギーを奉仕に向けていくことを信条としています。充実した例会を作り上げること、例会での役割を果たすこと、例会に出席することは大切な「親睦」です。

次に「私たちの地域社会・市民活動への積極的な参加」があります。クラブとしてはどうでしょうか？YMCAとともに自然災害支援や年末助け合いの募金活動、各クラブで行っている子ども食堂へのジャガイモのプレゼントなどは身近な地域社会・市民活動といえます。「クラブの個性と自主性」はクラブ運営や方針についての話し合いで培われていきます。

例会以外にクラブ仲間とともに周りを巻き込んだ友好的な話し合いを行い、行動を起こす

環境を作りたいものです。「親睦」なくして発展は望めません。「私たちの国際性」には、国際や地域(アジア太平洋地域)の活動への寄付やIBCの締結、国際や地域大会への参加があります。今すぐできる大切なことは国際や地域から発刊されるニュースレターなどを読んで世界のワイズメンの働きを学ぶことだと思いますがどうでしょうか？

「私たちの基本的な価値観」は、YMIは「YMIは、イエス・キリストの教えに基づき、愛、思いやり、犠牲、無私を基本的価値観として掲げています。」としています。11月22, 23日に開催された次期役員研修会において岡村遍導次期理事の方針にある「慈しみという心、愛という心を育み寛容な精神を持つ。平和を望み我々が慈愛の架け橋となって世界平和の一助となる。多くの問題や課題を抱えていても将来への道の開拓者となるべきその一助となる。」はその価値観を後押ししています。

「私たちのYMCAへの忠誠心」とは YMCAの持つ方向性にベクトルを合わせた活動を YMCA やユースとともに、YMCA やユースを対象に行うことだと思います。

YMCA ニュース

西日本区担当主事
大澤篤人(東京ひがし)



Y's SDGs Youth Action 2026 受付開始／事例紹介①

ワイズメンズクラブ国際協会両区と YMCA が全国規模で行う助成事業「Y's SDGs Youth Action 2026」の受付がついに開始いたしました。

改めまして、この活動は、各地域における社会課題を、その地域の未来を担うユース自らが気づき、考え、解決に向けた活動(Action)を応援し伴走していく事業です。今期は以下のスケジュールで実施していきます。

2025年11月15日(土) → 募集開始

2026年2月10日(火) → 募集終了

3月22日(日) → プrezentation大会

4月6日(月) → 結果発表

5月～12月 → 活動期間

プレゼンテーション大会は、審査員となる方以外の多くのワイズにご参加いただけます。また採択された活動には助成金が交付されるだけではなく、その地域で活動するワイズや YMCA が実際に伴走しサポートすることとなっています。地域のユースを導き、ワイズと YMCA が持つリソースを使ってサポートするため、是非皆様の地域におられる、社会課題解決を願うユースグループを発掘し、「Y's SDGs Youth Action 2026」を広めていただきたく存じます。

さて、12月号～2月号までは、過去の Y's SDGs Youth Action で採択された事例の紹介をしてまいります。本来理事通信では、最新の YMCA 情報の共有などがふさわしいものと思いつつ、ワイズとの協働事業である「Y's SDGs Youth Action 2026」の事務局を担う YMCA から、募集期間に限り、過去事例を紹介することといたしました。ユースグループ発掘のご参考としてください。

事例紹介①

「子どもの居場所作り」オール熊本 YMCA リーダー会

(Y's SDGs Youth Action 2022 採択事業)

コロナ感染症の影響などによる不登校児・生徒増加を背景に、熊本 YMCA ユースボランティアリーダー会は、

自分たちにしかできないアクションができないかと考え、「ぷらっとほーむ ～いつまでも私たちの居場所に～」という不登校支援プログラムを立ち上げました。子どもたちが“いつでも帰ってきたい”と思える居場所づくりを目指し、毎週金曜日に開かれた「金曜ぷらっとほーむ」や、8月と12月に行われたキャンプ、また関わるリーダーたちが学ぶ研修会などが行われました。

この活動は Y's SDGs Youth Action 2022 の活動期間が終了したあとも継続的に定期的なプログラムが行われ、ユースグループの代表者はその後熊本 YMCA スタッフとなり、現在は熊本 YMCA の 1 事業として展開されています。

熊本 YMCA のぷらっとほーむは、不登校児童の増加という、地域の社会課題へアプローチするためにユース自らがアクションを起こし、ワイズと YMCA がそのスタートを力強くサポートしたことが、ユースリーダー、参加した児童やその家族、また地域をよくしていき、いまや継続的な事業へと成長した事例です。

詳細は Y's SDGs Youth Action 特設サイトに、過去の報告記事として残っておりますので、是非ご確認ください。

・Y's SDGs Youth Action 特設サイト

<https://sites.google.com/japanymca.org/youth-action2022/>

・オール熊本 YMCA リーダー会 活動報告

<https://sites.google.com/japanymca.org/youth-action2022/%E6%9C%80%E3%82%AA/kumamoto> の活動報告/kumamoto

来月も過去の事例を紹介しようと思います。楽しみにお待ちください。



西日本区ワイスメネット委員会より

《瀬戸山陰部部会 メネット記念座談会》

「ひとり親家庭が直面する課題を考える」というテーマで、鳥取県母子寡婦福祉連合会理事長の井田智子さんと皆生の居場所「ちいさいおうち」管理人の水田美世さん、そして元良善幼稚園園長福永君ニワイズを講師として行われ、貴重な取り組みの紹介と今後の課題についてのお話がありました。



昨年度の西日本区メネットアワードでは、認定 NPO 法人女性と子ども支援センター「ウイメンズネット・こうべ」代表理事正井禮子さんから「住まいは人権」としてシングルマザーの住まいの確保の重要性、また今期 9 月に行われた京都部部会でのメネットの集いでは、シングルマザーシェアハウス運営一般社団法人みおつくし代表の松田舞さんからも「ひとり親家庭支援の現場から」というテーマでお話を伺いました。住まいの確保が生きるうえで必要不可欠なものであり、そのための支援の重要性が改めて感じられました。

いろいろなところで困難を抱えておられる方への支援がなされていることを知る機会をいただき感謝を受けます。青少年の健全なる育成を願う活動を展開している YMCA・ワイスメンズクラブとしては、どんな支援ができるのか考えていきたいです。ひとり親家庭が直面している課題は様々ですが、その中でも良き社会との繋がりを感じてもらえるような取り組みができたら良いと思います。キャンプへの招待、楽しい集いの開催、居場所の提供等小さな取り組みも、集まれば日本のある子たちの明るい未来につながると信じて、これからも各クラブで地道な活動を続けていかれることを願っています。その中で、無理のないメネットの協働があれば心強いですね。

=来年 6 月に奈良で開催される西日本区大会メネットアワードについて=

アフガニスタンの子ども達に日本で役割を終えたランドセルを贈る活動

『思い出のランドセルギフト』の取り組みについて知っていただき、私たちにできる幸せの社会貢献について共に考えていきましょう。

日本の子ども達にとっても社会を知る良い学びとなり、
他者を思いやる心を育てることにつながると思います。



～メネットもワイスライフを楽しみましょう～

2025～2026 年度 各部部会開催日程

部	開催日	曜日	開催地・会場	ホストクラブ
中 部	2025 年 10 月 04 日	土	とやま自遊館	とやま
びわこ部	2026 年 02 月 15 日	日	エクシブ琵琶湖	彦根シャトー
京都部	2025 年 09 月 13 日	土	ホテルオークラ京都	京都パレス
阪和部	2025 年 09 月 27 日	土	大阪 YMCA(土佐堀)	大阪泉北
中西部	2025 年 09 月 14 日	日	ホテルアベストグランデ高槻	大阪茨木
六甲部	2025 年 11 月 15 日	土	神戸クラウンパレスホテル	神戸西
瀬戸山陰部	2025 年 11 月 08 日	土	由志園 <松江市八束町(大根島)>	米子
西中国部	2025 年 10 月 25 日	土	広島 YMCA	福山
九州部	2025 年 10 月 11 日	土	メルパルク熊本	熊本 N スピリット

2025～2026 年度 第 29 回 西日本区大会及び関連行事予定

行事名	開催日	曜日	会 場
前夜祭	2026 年 6 月 12 日	金	KOTOWA 奈良公園
区大会	2026 年 6 月 13 日	土	なら 100 年会館
区大会(懇親会)	2026 年 6 月 13 日	土	ホテル日航奈良
第 4 回区役員会	2026 年 6 月 13 日	土	ホテル日航奈良
第 2 回区準備役員会			
区年次代議員会			
元理事懇談会			
担当主事の会			
メネットアワー			

第30回 びわこ部部会 in 彦根



高島クラブ



長浜クラブ



彦根クラブ

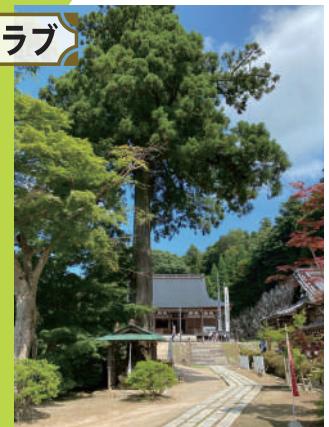
彦根シャトークラブ



近江八幡クラブ



滋賀蒲生野クラブ



とき：2026年2月15日(日)

ところ：エクシブ琵琶湖 コンベンションホール

滋賀県米原市磯 1477-2 (JR 米原駅より送迎バス有り) TEL.0749-52-6111

受付／14:00～ 開会／14:30～

式典／14:30～16:30 (バナーセレモニー、記念講演)

懇親会／17:00～19:00

登録費／15,000円



《ホストクラブ》

彦根シャトークラブ





阪和部新年合同例会

新春の和歌山で

和うって、和うって、和きあいあい。



＊ オープニング ＊ 和太鼓集団和響



＊ 第二部 ＊ お楽しみ

<第2報> 阪和部部長 遠藤 通寛
実行委員長 向井 千恵子

■会場：ホテルグランヴィア和歌山
■開催日：2026年1月18日(日)
■開場：11:00 / 開会：11:30～15:00
■ホスト：和歌山紀の川クラブ / 登録費：12,000円

KYOTO PALACE

INTERNATIONAL

55
ANNIVERSARY

2026年4月18日[土]

京都パレスワイズメンズクラブ

55周年 記念例会

ホテルオークラ京都

16:00~



大阪サウスワイスメンズクラブ

創立70周年記念式典・祝会



会場：シティプラザ大阪 2階 旬の間
大阪府大阪市中央区本町橋 2-31

2026年 4月18日 (土)

受付 11:00

開会 11:30

閉会 14:45

参加費 12,000円



ワイズメンズクラブ国際協会 第29回西日本区大会 メネットアワー



©国際協力NGOジョイセフ

ランドセルに 思いをのせて

～アフガニスタンのこどもたちに
学びの機会を～

講師 櫻井 啓子氏 (東日本区
下田クラブメネット)

国際協力NGO JOICFP(ジョイセフ)理事

日時：2026年6月13日（土）

10：00～11：30（終了後会食）

場所：ホテル日航奈良 羽衣の間

会費：2,000円

世界の妊産婦と女性の命と健康を守る活動をしている国際協力NGO JOICFP（ジョイセフ）では、日本で役目を終えたランドセルをアフガニスタンに寄贈し、子どもたち、特に教育の機会に恵まれない女の子の就学に役立てる国際支援活動である「思い出のランドセルギフト」に取り組んでいます。この活動は2004年にはじまり20年を迎えました。

ワイズメンズクラブでは、その趣旨に賛同し、東京むかでクラブ・石巻広域クラブ・神戸ポートクラブ・奈良クラブと有志メンバーで構成された実行委員会で熱心に取り組んでいます。



メネット活動の共有と親睦・交流を計画しています。
奮ってご参加ください。



西日本区ワイズメネット委員会代表
大野 智恵（神戸ポートクラブ）



Let's enjoy



ワイスメンズクラブ国際協会

第29回 西日本区大会

2026年 6月 13日 土 なら100年会館
ホテル日航奈良

6月 12日 金 前夜祭
KOTOWA奈良公園 Premium View

ホストクラブ:奈良クラブ

サブホスト:和歌山クラブ、大阪サウスクラブ、大阪河内クラブ、
大阪長野クラブ、大阪泉北クラブ、和歌山紀の川クラブ

